

令和6年度県立森川特別支援学校 自己評価表 (院内学級職員)

※【評価値】 A：達成できた、 B：ほぼ達成できた、 C：やや改善が必要、 D：改善が必要

評価項目	具体的方策	A	B	C	D
教育目標	1 本校の教育目標を理解し、児童生徒の実態に即した具体的な教育目標を設定している	4	11	1	0
	2 児童生徒の実態に応じた適切な教育課程が編成されている	7	9	0	0
教育計画	3 個別の教育支援計画は、本人、保護者の願いを踏まえ、適切な教育的ニーズが設定されている	6	10	0	0
	4 個別の教育支援計画、個別の指導計画が、日々の教育実践で活用されている	2	10	4	0
	5 年間指導計画は、学部内・学部間で一貫・継続した指導ができるよう系統的に作成されている	4	12	0	0
	6 各教科等の指導の重点は、学習指導要領に沿っている	6	10	0	0
教科等の指導	7 授業内容の理解促進のため、児童生徒に応じた配慮・工夫が行われている	12	3	1	0
	8 教材の精選、授業時数の確保等、学習保障への工夫がなされている	10	5	1	0
	9 実践的・体験的な活動を通して、児童生徒が主体的に学習活動に取り組めるよう工夫している	5	10	1	0
自立活動	10 個々の児童生徒の実態に即した内容が、計画的に実施されている	6	10	0	0
	11 個々の児童生徒の実態、目標の共有、指導体制の構築等において、職員の協働・連携が図られている	7	9	0	0
総合的な学習 (探究)の時間	12 ねらいや指導内容は、児童生徒の興味・関心に即したものとなっている	4	8	4	0
道徳教育	13 道徳教育の全体計画を作成し、職員相互の共通理解や指導体制の連携を図っている	1	6	8	1
特別活動 (生徒支援)	14 児童生徒会活動をはじめ、児童生徒が主体的で楽しく活動を進められるよう指導している	8	8	0	0
学校・学部 行事	15 事前・事後指導を十分行い、児童生徒の実態に即した内容となっている	10	5	1	0
ICT活用	16 ICTの活用について、学びの深化・定着や自立活動等、学習指導や支援の充実に向け、積極的に取り組まれている	15	1	0	0
支援部・教 育相談	17 適宜、関係者、関係機関等と連携し児童生徒及び保護者の支援に努めている	14	2	0	0
	18 特別支援教育のセンター的機能の充実に努めている	11	5	0	0
安全指導 (保健安全)	19 病気理解と健康管理（健康の保持増進や体力の向上）について意識づけを行い、健康的な生活習慣の確立に向け取り組んでいる	9	7	0	0
	20 災害時及び緊急時等に適切な対応ができるような体制が整っている	6	6	4	0
キャリア教育・進路指導	21 児童生徒の将来に向けて、計画的、系統的に進路の指導・支援が行われている	5	11	0	0
交流及び共同学習	22 児童生徒の個々のニーズを踏まえた交流が行われている	6	9	1	0
図書室の教育活動	23 図書だよりや本の紹介、掲示板等を通して、児童生徒の興味関心を高める工夫がされている	5	11	0	0

校内研修	24	指導・支援上の課題解決に資するよう、適切に取り組まれている	5	11	0	0
家庭、地域 社会等との 連携	25	医療機関と日頃から児童生徒の病状に応じた相談や対応等の連携を図っている	11	5	0	0
	26	学習活動、支援の充実に向け、保護者、関係機関等と適切に連携している	12	4	0	0
職員の協働・連携	27	教育活動、分掌業務において、職員の協働・連携が図られている	7	8	1	0
人権教育	28	児童生徒に対する不適切な言動や不適切な指導等の実態把握に努め、早期発見早期対応に努めているか	9	7	0	0
PTA	29	PTA活動、諸行事を通して、保護者と協力し教育活動の充実に努めている	5	10	1	0
施設・設備 等	30	教育活動のため施設・設備は整備されている	4	8	4	0
	31	教育活動のため教材・教具や図書等の充実が図れている	5	8	3	0
備品管理	32	教育活動を効果的に行うために、教材教具等を有効に活用し、整理・保管等が適切になされている	4	8	4	0
働き方改革と 業務改善、ハ ラスメント防 止 【学校におけ る働き方改革 の3軸・6視 点より】	33	個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができています	7	6	1	2
	34	一人一人の児童生徒との信頼関係を深めることができています	8	7	0	1
	35	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています	5	7	2	2

※ご意見その他お気づきの点がありましたら、記入をお願いします。（特に教員の多忙化を防ぐために取り組んでいること、または学校として取り組んで欲しいこと）

・管理者の在任期間を長くしていただきたい。異動間隔が短すぎる。

・今年度は再入院している生徒さんがいて病状的に重いケースや、年度途中で亡くなられる児童もいたため職員のメンタル面がかなり心配です。目の前には別の児童生徒もいるため、その時間帯は気持ちを切り替えて接したり授業対応をしたりしていますが、職員の心のケアのためにも何か手を打つべきではないかと感じています。臨任メンバーの時と同じような感じで、本務職員（特に院内職員はほとんど本校にもいないので）に対してもざくばらんに管理者と話をすることがあったらいいな、と思います。（必要ない方もいるかもしれませんが・・・）あとは、ミニ研修等でグリーフケアの内容で取り組むことも次の年度の計画で入れられたらと思います。研修のアンケート以降に気付いたので入力できておりません。

・仕事の効率化、時短化、負担減、省資源などにつなげるため、紙ベースで行われている業務の電子決済化に取り組めたらいい。